

東はりま甲南会報

第23号

発行
東播磨甲南会

【事務局】

〒675-0017
加古川市野口町
良野365-11

行政書士澤本事務所
澤本武司 気付

TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail
sawamoto@gyosei.or.jp

コロナに負けるな!!

力を合わせて、この難局を
乗り越りましょう!!

こちらのQRコードから
東播磨甲南会のHPが
ご覧頂けます



(左)長坂 甲南学園理事長、
(中)三宅会長、(右)岡田加古川市長

東播磨甲南会
会長 三宅 隆宏

有限会社協立サービス
取締役会長
(経営学部 昭和41年卒)

心から愛する長坂さん

理事長ご就任おめでとうございます!!♡♡♡♡♡

東播磨役員一同「最もなつて欲しかった理事長」と心からよろこんでいます。各地甲南会はじめ教授・職員の皆様も同じ気持ちの筈。

学生達を心から愛され成長を見守り、甲南大学の中途半端な規模の総合大学を熱い情熱と強いリーダーシップでここまで持ってこられた実績は凄い。

その高い見識、優れた能力、創造力、そして企画力が評価され、前吉沢学園理事長はじめ理事メンバー全員の強い期待の現れと思えます。

5年目に入る 甲南大学 × 加古川市の加古川「知」を結ぶプロジェクトの成果と報告内容の進歩は年を追うごとに目を見張るものがあります。

毎年感じるのですが2月の成果発表会の学生達の熱気、学ぼうとする前向きな姿勢、そしてプレゼンとチームワークは大変素晴らしい、企業人の一人として何時も誇らしげに参加させてもらっています。

今後の更なる展開とレベルアップ、そしてバージョンアップが楽しみです。我等東播磨甲南会全力挙げて支援して行きます。

6月の当会総会では初の女性新学長中井様(3年前知を結ぶの発表会で学長代行でご来賓)と長坂さんお二人を迎え開催するつもりでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、先日の役員会で涙をのんで中止と決定しました。本会始まって以来初の総会中止でもあり、本当に残念です。

ご自愛され益々のご活躍お祈り致します。

From 初めて男性に恋した三宅隆宏



学校法人 甲南学園
理事長 長坂 悦敬

日頃より卒業生相互の親睦を図り、甲南ファミリアのネットワーク拡げる活動、甲南大学学生の地域連携教育へのご支援など、まことにありがとうございます。

2020年3月末で学長任期を満了し、4月1日より甲南学園の理事長を拝命いたしました。今後は、甲南学園のさらなる発展のために微力ながら全身全霊を注ぐ覚悟です。

2014年度からの学長職任期中には、加古川市と甲南大学の包括協定、加古川「知」を結ぶプロジェクトの橋渡しなどご尽力いただき、心から感謝しております。引き続き、東播磨甲南会の皆様にたいへんお



甲南大学 同窓会
会長 立野 純三
株式会社ユニオン
代表取締役社長

東播磨甲南会の会員の皆様、平素は大学同窓会の活動に多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、甲南学園は創立100周年を迎えました。甲南大学同窓会はこの記念すべき年を同窓生みんなで祝い、同窓意識を更に高め、会員相互の親睦を通じ甲南学園および会員相互の発展に寄与するため活動致しました。

学生への支援強化の為「チャレンジ基金」を見直し、優秀課外活動団体への支援「インフィニティ基金」を

世話になりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

甲南学園は昨年2019年4月21日に学園創立100周年を迎えることができました。東播磨甲南会はじめ多くの卒業生、関係各位のおかげです。深く感謝申し上げます。

甲南学園今までの100年の間には、世界恐慌、悲惨な戦争、オイルショック、阪神淡路大震災など幾多の苦難があり、先人はそれらを乗り越えてきました。今、日本のみならず世界が新型コロナウイルス対策におわれていますが、英知を絞り、みんなでお互に助け合っていくことで必ずこの危機を乗り越えることができると信じています。

甲南大学では、今できる学びを考え、工夫し、甲南新世紀教育をすすめていくべく、懸命に努力を続けているところですが、卒業生の皆様と一緒にこの難局を乗り越えていきたいと、何卒よろしく申し上げます。

東播磨甲南会のみならずご発展を心より祈念し、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

新設致しました。昨年10月に開催した「オール甲南の集い(甲南学園創立100周年記念祭)」には約1300人の同窓生・ご家族・ご友人に参加頂き、また各地甲南会でも「100周年の祝賀会」を開催して頂き多くの同窓生に参加頂きお祝いすることが出来ました。

今年度も、甲南大学同窓会は新しい出会いの場を創り交流を深め、「我が道を進め」との教えを守り、同窓意識を更に高め、多くの同窓生に同窓会活動に参加頂き、会員相互の親睦を通じ甲南学園および会員相互の発展に寄与するように活動します。是非ご協力頂きたくよろしくお祈り申し上げます。

東播磨甲南会の会員の皆様、三宅会長を中心に力を合わせ、より貴会が発展されることをお祈り申し上げます。

東播磨甲南会 第28回総会中止のご案内

平素より東播磨甲南会の活動に格別のご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東播磨甲南会第28回総会は、例年通り6月第1週目に開催予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、参加者及び関係者の安全を最優先に考慮して中止とすることをいたしました。

現状をご賢察のうえ、何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

新学長挨拶



学長 中井伊都子

このたび第18代学長を拝命いたしました中井伊都子と申します。日頃は、甲南学園への募金活動および学生の地域連携活動や就職活動への温かいサポートなど、多岐にわたり特段のお力添えを賜り深く感謝申し上げます。

100周年を超えてなお一層力強く歩み続ける甲南学園にあつて、今の社会に求められる個性輝く人材を世に送り出すことができる大学であり続けるために、微力を尽くしてまいります。そしてみなさまに愛され誇りに思っていただけの母校甲南をしっかりと守っていきたいと思っています。

2020年度の幕開けは、新型コロナウイルスの感染拡大によりかなり波乱の様相です。そんな中にあつて、融合力を発揮し、さまざまな環境変化に対応できる力、持続的に発展できる力を備えた大学になるべく、次期ビジョンを早期に策定しそれに基づく施策を展開してまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

加古川「知」を結ぶプロジェクト 行政×大学×地元メディアによる 地域の課題解決

令和2年2月8日(土)、加古川総合保険センターウエルネージョホールにて、加古川「知」を結ぶプロジェクト「行政×大学×地元メディアによる地域の課題解決」の成果報告会が開催された。

【当日の様子・参加者】

本プロジェクトは行政、及び地元企業の抱える課題を、母校甲南大生が調査研究し、改善の提案を発表するものである。本年度で第4回目となる本プロジェクトには60人以上が参加し、盛況となった。

本年度の発表チームは、経済学部柘植ゼミ、経営学部西村ゼミ、1年生から4年生までが入った混成チームである甲南選抜岡村チーム、経営学部北居ゼミ、知能情報学部岳ゼミの5チームだった。

【発表内容】

柘植ゼミは、加古川市政策企画課政策推進係様のご協力のもと「加古川×スポーツ×国際交流」を提案した。現在、市内のオリンピック関連イベントは認知度が低いという問題がある。市民のニーズを調査し、皆がより楽しんで加古川市の魅力も向上するというイベントが提案された。アンケート結果から作られた食のイベントは非常に魅力的であった。

西村ゼミは、有限会社ネオ・ニッセイ様のご協力のもと「ルピナス de 地域活性化」を提案した。客席側でプラカードを掲げる役割の学生がおり、壇上の仲間をサポートするという抜群のチームワークが良かった。発表内容に關しても、社会問題解決の手助けになるような付加価値のある商品を作るにあたり、高級品である国産玄米を使用したグラノーラを、妊婦さん向けに靴下とセットでギフトにするという提案は見事だった。

甲南選抜岡村チームは、加古川市危機管理課様

地域の課題解決

のご協力のもと「防災教育」と「郷土学習」を兼ねた防災交流授業」を提案した。加古川市の課題である「災害時の情報伝達」をどう解決するかにおいて、高校生が地元企業と防災交流授業を行うことで「顔の見える関係」である人々を増やし、救う側に立てる人物を育て増やすというものであった。防災を他人事にならないために工夫を凝らしていた点が素晴らしい。

北居ゼミは、前島食品株式会社様のご協力のもと、「企業の女性管理職を増やすには？」前島食品様を対象に考える」を提案した。どの企業も抱える非常に難しい問題であるが、地道で堅実な良い調査を行ったように思う。良いアンケートを作るというのは非常に難しいことであるが、非常に効果的なデータを集めていたのが印象的だった。

岳ゼミは、加古川市政策企画課シティブロモーション係様のご協力のもと「加古川魅力発信システム」を提案した。ICTを活用した効率の良い情報発信方法を模索しており、通信機器の設置された施設へ行く、施設の情報などがシステム利用者へ届くというものである。一見複雑な内容だが、プレゼンテーションは動画を組み合わせることで、実に分かりやすくなっていった。システム自体を短期間で開発できているのも素晴らしい。

【審査結果】

最優秀賞は岳ゼミ。講評では、しっかりと課題を把握しており、解決までの論拠を立てられていた。実証実験の前と後についても、この事業の強みや弱みをしっかりと整理されているのが良かったというコメントがあった。加古川市賞は甲南選抜岡村チーム。講評では、市の管轄外である高校生を対象とするというのは盲点であり、気付かせていただいたというコメントがあった。甲南大学賞は柘植ゼミ。講評では、時宜を得た非常に良い

テーマとなっていた。アンケートによる裏付けのある提案が出来たというコメントがあった。神戸新聞社賞は西村ゼミ。講評では、非常に聞きやすく、素晴らしい流れだった。妊娠祝いという新たな市場を創り出すかもしれない発想に感心したというコメントがあった。健闘賞は北居ゼミ。講評では、キャリア面談というのは非常に面白い手法だったが、プレゼンの組み立てがいまいち上手くいつておらず残念というコメントがあった。個人的な意見では、本番の緊張でセリフが飛んでしまい悔しかったと思う。ぜひこれをバネにしてほしい。

【懇親会と東播磨甲南会賞について】

成果報告会后、当東播磨甲南会三宅隆宏会長の計らいで懇親会が開催された。本年度の東播磨甲南会賞については、他の賞とは異なる「甲南らしさ」に重点をおいた独自の審査基準にて審査した。厳正な審査の結果、特にチームの高いコミュニケーション力などを評価し、西村ゼミの皆様へ授与を行った。その後、例年通り終始和やかなムードで交流を深め、閉会となった。



会員企業紹介

身近な街の 経営相談窓口

企業訪問第8回目の今回は、
加古川商工会議所の藤原武彦さんにお話を伺いました。

卒業年度と学部を
教えてください。

昭和60年、経営学部卒業です。専攻はマーケティングで、山中均之先生のゼミでした。



どんな学生生活でしたか？
部活などの思い出をお聞かせください。

文化会の児童福祉研究会に所属していました。今は懐かしの文化会館に部室があり、ゼミは出席していましたが、授業よりも部室へ通うといった感じでしたね。部会代表もやっていて、部室へ行ってそのまま部室から帰るといような日もありました。

就職してみても、
商工会議所はどこなところでしたか？
また、商工会議所ではこれまでにご
どんなお仕事をされましたか？

結構何をやっているのか分かりにくい機関だと思っておりますが、私も就職当初はあまりよく分かっていませんでした。非常に広範囲な業務を取り扱う会員組織の団体です。就職した時は総務で会員管理などを担当していました。また、ダブル景気の時には、地域行政をあげて公共的事業をやる



ということ、官民が協力し合い地域の情報インフラとしてケーブルテレビ事業の立ち上げをやることになりました。これが今のBANIBANテレビです。立ち上げ当初には暫く出向もして、撮影、編集、出演と何でもやっていました。出向から戻ってきてからは、中小企業相談室で事業者さんへの経営アドバイスやお手伝いをしています。企業の一生である創業から廃業まで、様々な相談に対応しています。特に創業については相談出来る場所が他に殆ど無いので、事業プランと一緒にブラッシュアップしたり、資金調達の仲立ちをしたりします。関わった事業者さんがどんどん成長したりするとももちろん嬉しいですし、逆に廃業の相談を受けた時も、あの時きちんと廃業できて本当に良かったと後でしみじみ言われたり、とてもやりがいのある仕事だと思います。

休日の過ごし方・趣味はなんですか？

昔、子供のソフトボールの指導を7、8年やっていたこともあり、5年ぐらい前から50歳以上が所属するシニアソフトボールチームに加入しています。週に1回の練習ですが、これが楽しみです。

現在の加古川「知」を結びプロジェクトに参加している学生について
どう感じられますか？

中小企業相談室長という立場から、審査員をさせていただいておりますが、非常にレベルが高いですね。様々な分析手法、経営手法を活用しており凄いなと思います。発表後の懇親会でも、「どこを直すべきなのか」と質問攻めにあい、熱気を感じています。ただ、高校生のビジネスプランコンテストなども見ていると、「発想の面白さ」とか、論理に頼らない「なんとかこれを実現させたい」とい

う熱意や工夫などは、逆に高校生の方が眩らせるものがあると感じます。ちよつと近年はテクニクに走りすぎている印象があり、このあたりを改善されると、更にレベルアップできるのではないかなと思います。

今後の「知を結びプロジェクト」は
どのような方向性が望ましいと
感じていますか？

この取り組みは、普通の授業ではできない「実社会を意識する」、「実際に課題解決を提案する」ということが体験できるので、これから社会に出ていく大学生にとって非常に良いデモンストラーションになると思っています。ぜひ、もっと色々なゼミの学生にも参加してほしいですね。

今後の抱負をお聞かせください。

今、加古川では人口の社会減少という課題があります。事業者の数も減ってきています。我々の立場としては、例えば創業のように地元を根を張り、地元で生活する人達のお手伝いをしたいなあと考えています。また、企業が人が欲しくても、人が加古川の企業に就職してくれないという問題もあります。このような問題を解決するお手伝いもしたいですね。我々は経済振興的な切り口から、今後も地域が継続していきいきした街になるように、行政と協力して街づくりを頑張っていきたいと思っております。

ぜひ、「経営のことなら商工会議所に！」資金繰りや決算に関すること、補助金申請に関することなど様々なお手伝いもしています。先ずはお気軽にご相談ください！

本日はありがとうございました。

加古川商工会議所のHPはこちらからご覧いただけます。



ゴルフコンペ

東播磨甲南会 開催のご報告



令和1年11月12日 曜日 加古川ゴルフ倶楽部におきまして、参加者6名による第13回東播磨甲南会ゴルフコンペを開催いたしました。初参加は甲南大ゴルフ部出身、りんどうの宮本了介さん。そして、今年から世話役にジブラルタ生命保険㈱勤務の津田裕昭さんに加わっていただきました。そろそろ世代交代です。2組というとてもさびしい参加人数ではありますが、今年も快晴の絶好のコンディションの中、各組スタートしていききました。ゆつたりムードで2組でのプレーは無事ホールアウトしました。ダブルペリア方式による優勝は、宮本了介さん。2位 大西信良さん。3位は籠谷絃義さん。

来年の第14回ゴルフコンペは小野ゴルフ倶楽部でのコンペを予定しております。11月の何かと行事のためこむ時節ではありますが、気候も良く紅葉も楽しめるこの時期に年に一度の開催を継続しています。特に若手のOBの皆様のご参加よろしくお願いたします。

(担当・澤本)

東播磨甲南会ゴルフコンペ収支の件

<収入>	
・参加費	¥5,000 × 7名 = ¥35,000
	¥3,300 × 1名 = ¥3,300
	<合計> ¥38,300
<支出>	
・葉書代	¥65 × 45枚 = ¥2,790
・会食費	¥3,300 × 8名 = ¥26,400
・参加費	¥1,078 × 7名 = ¥7,546
	<合計> ¥36,736
●次回への繰越	¥1,564

東播磨甲南会 役員組織(案) (R2~R4年度)

顧問	渡邊 東(S40経済)	<総務委員会>
会長	三宅 隆宏(S41経営)	委員長 岩崎 泰央(S62法)
副会长	大庫 良一(S54経済)※筆頭	副委員長 藤原 武彦(S60経営)
	中尾 知也(S50法)※総務担当	<地区委員会>
	大庫 俊介(S46文)※地区担当	委員長 井奥 貴子(H3経営)
	松本 浩一(S49文)※広報担当	副委員長 丹後 昌博(S54法)
幹事長	栗山 隆博(S62文)	津田 裕昭(H20法)
会計	榎谷 有美(H3経営)	<広報委員会>
監事	西尾 淳(S39経営)	委員長 新濱 義孝(S62理)
	籠谷 紘義(S40経営)	副委員長 富居 雅人(S62文)
同窓会 本部理事	富居 雅人(S62文)	森 正英(H26FS)
事務局長	澤本 武司(H6理)	

入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出て頂くか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会・行事毎に参加者からその都度会費(実費)をいただきます。

■事務局

〒675-0017

加古川市野口町良野365-11

行政書士澤本事務所 澤本武司 気付

東播磨甲南会

TEL 079-421-1747

FAX 079-439-2842

E-mail sawamoto@gypsei.or.jp

令和元年度で4回目となる加古川「知」を結ぶプロジェクト成果報告会は、当日の佐藤教授のお話にもあったが、恒例行事となりつつあることで実施面では非常にスムーズになってきていると感じた。しかしながら悪い面もあり、ややマンネリ化しつつもあった。

東播磨甲南会賞が令和元年度から我々東播磨甲南会による独自の審査になり、審査基準の軸が拡大したことで、今後の発表者にとって非常に良い刺激になるのではと期待している。

また、非常に嬉しいニュースがあり、本会と親交が深く非常にお世話になっている長坂前学長が任期満了となり、令和2年4月より「甲南学園理事長」に就任された。近年の、少子化が進む中での母校の発展は長坂理事長なしでは語れない。我々も、これからの甲南のために尽力していきたいと思う。(M.M.)

編集後記